

# 2018 年度

## アメリカ留学報告書

実習先：セントラルミズーリ州立大学

実習期間：8月21日(木)～12月7日(金)

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21017042

木村凌介

# 目次

- 1 留学先及び期間
- 2 留学先概要
- 3 留学目的
- 4 留学内容
  - 4-1 留学のスケジュール
  - 4-2 留学の詳細
- 5 当初の目的・目標への達成度
- 6 反省・今後の課題
- 7 謝辞

付録

留学日誌・アメリカの文化

## 1 留学先及び実習期間

留学先：セントラルミズーリ州立大学

留学期間：平成 30 年 8 月 21 日（木）～12 月 7 日（金）

## 2 留学先概要

### (1) 大学について

1871 年に設立されたセントラルミズーリ州立大学は、カンザスシティから東に約 80 キロのウォレンスバーグにある総合大学である。大学があるウォレンスバーグは人口約 15,000 人の小さな大学町で、学生の活気で溢れている。ミズーリ州は川や湖などの大自然と大都市文化が共存し、州最大の観光地オザーク湖ではウォータースポーツを楽しめる。

### (2) 大学で学べるカリキュラムについて

150 もの学術プログラムが提供されるキャンパスでは、準学士号、学士号、修士号、教授修士号など幅広い学位を取得することができ、ミズーリ州以外からも全米 43 州、57 ヶ国からの留学生が集い学んでいる。また、アメリカ有数の航空基地であるホワイトマンベースに近いことから航空学が有名で、パイロットを目指す学生が全国から集まる。

## 3 留学目的

今回の留学目的は大きく分けて 2 つである。1 つ目は、英語力の向上である。特にリスニングとスピーキングの二つの能力に力を入れた。もちろんライティングなどのスキルも重要視されるが、ネイティブの人達の授業を受けてみるとわかるが口調が速すぎて何も聞き取れないのが現実なのでこの二つさえしっかり鍛えると分かるようになる。2 つ目は、文化や歴史を実際に見て感じる事。普段日本で生活してるとなんの不便なく生活できるがアメリカの文化や歴史に触れることで考え方が変わるのではないかと考えた。

## 4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

### 4-1 留学のスケジュール

月	日	内容
8	21	成田前泊
	22	到着
	25	クラス分けテスト
	27	授業開始
9	14	ELI Activity ゴルフとカンザスシティーショッピング
	21	ELI Activity トールマン博物館
10	11	ELI Activity パンプキンペインティング
11	15	Thanks giving berak
	17	ホストファミリー宅への訪問
	19	ニューヨーク旅行
	23	↓
12	5	卒業セレモニー
	6	出国
	7	帰国

#### 時間割

午前の部は10時くらいに休憩が入ることが多い。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 時 間 目	9:00~ 10:50	Reading	Communication Skills	Reading	Communication Skills	USA Japan Relations
2 時 間 目	11:00~ 12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	American History
昼 休 み	13:00~ 13:50					
3 時 間 目	14:00~ 14:50	Accent Reduction	TOEIC	Accent Reduction	TOEIC	

4 時 間 目	15:00～ 15:50	Reading Lab	Seminar in American	Writing Lab	Seminar in American	
5 時 間 目	16:00～ 16:50				English Café	

#### 4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目は以下の通りである。

<授業概要>

##### i)Reading

文学、ジャーナリズム、および学術論文を読んで、アカデミック・リーディングのスキルを概要をつかみながら読む、大事なポイントを抑えながら読む、口頭および文書で要約する。ペアワークやグループディスカッションをして長文読解や答え合わせをするという内容であった。

##### ii)Writing

与えられたテーマに対して調べ、ライティングスキルを身に着ける授業。前期、後期で様々なトピックを行い、各トピックについて調べたものをエッセイにした。要約や概要欄の書き方も習得することができる。また、ペアになり互いの間違っている個所を教え合えるので自分の間違っている場所を気付かされた。

##### iii)Grammar

文法の基本から今一度見直す授業。また、その文法の応用な使い方も指導される。グループになり確認し合いながらテキストを進める。また、小テストなどもあり成績に割と響くので注意。

##### iv)Communication Skill

大学生活における日常およびアカデミックな場面でのリスニング、スピーキング、プレゼンテーションの能力を育成する授業。CD音源から聞き取ったものをノートテイキングしたりグループワークで問題に取り組んだりする。なお学期末にはプレゼンテーションを行う。

#### v)Accent Reduction

初めに発音テストを行いクラス分けを行う。そのクラスで発音をマスターする授業。現地の学生がトピックを与えるのでそれを各自生徒だけで会話をする。少しでも発音が間違っていると止められ指摘される。間違ったところを重点的に行うので発音が当初より綺麗になった。

#### vi)AmericanHistory/USAJapanRelationship/SeminaerinAmerica

語学科目で学んだアカデミック・スキルを用いて、開拓時代から現代の多文化のアメリカや教育、政治、メディアなどについて学ぶ。

#### vii)TOEIC

リスニング、リーディング、ディスカッションのパーツごとに問題を解いて TOEIC に向けての準備をする授業。学期末には本番の TOEIC を受けた。

#### viii)English Café

留学生が皆集まり、楽しくお話ししたり、勉強したりスタイルは人様々であった。また、強制参加ではなく自由参加なので都合が合えば行くと良い。

#### <授業外>

#### ix)ゴルフ

Activity の一個であるイベント。バスで 30~40 分くらいのところにあるカンザスシティでは大きなゴルフ場である。ここで 2 時間くらい遊んでからショッピングに行った。初めてのゴルフ体験だったがとても楽しく自己ベストで 168 ヤードをたたき出した。平日なのにも関わらず多くの客がいた。



#### x) アメリカンフットボール開幕戦

アメリカではかなり有名なスポーツの一つで大学にもチームがあり他の大学より頭一つ抜けて強かった。学校の敷地内に大きな試合場があり他校の練習にも使われていた。毎回試合の日にはたくさんのお客さんが来場して試合を見て盛り上がっていた。近場で見てみるとかなりの迫力だった。また応援席にはチアリーダーも存在し会場を沸かせていた。



#### xi) ニューヨーク旅行

何もかもが初めての場所でとても新鮮だった。4泊5日の旅だったが、ほぼ行きたいところ制覇した。ホテルもマンハッタンの近くで泊まり、タイムズスクエアまでは電車で20分くらいで着いた。タイムズスクエアの夜景は神々しく圧巻であった。電車の本数は東京と同じ感覚で来る。街中にはWi-Fiも至る所に備えてあったのでとても助かった。その場所で充電もできるので残量が心配な方はそこを使うと良いでしょう。お土産は早めに済ませておいたので自分の時間を有意義に使った。ニューヨークまでは、飛行機で片道3時間半ぐらいだ。早めに行く場所を決めておけば安い値段で行くことができる。



## 5 当初の目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

この留学で最も大切なことはリスニング・スピーキングの二つを向上させるかである。また実際に異文化を理解することもとても大切なことだと考えた。異文化に関心を持ちつつ、生活することにより日本では味わえない体験や勉強面においても教わったことへの吸収力も高まっていくと考えたからである。アメリカの地において、ここでしか体験できないことを積極的に参加し挑戦しようと考えた。たとえば学問的な単語だけではなく現地の若者たちが行っている挨拶や頻繁に使う文章や言葉や流行しているものを積極的に取り入れたいと考えた。このようなことからアメリカ文化をもっと学びたいと感じるようになり、勉強面も意欲がわいてきたように感じる。課題などもたくさんで学校が終わってから夕飯まで時間があるので明日の授業などの予習や復習しておくこと次の授業内容がすんなり頭に入ってきやすいと感じた。

## 6 反省・課題

約4カ月間のアメリカ留学ではかなり良い経験や体験ができたので充実したものとなった。現地の人との交流が少ないためアメリカ人と友達になるのはとても難しいと感じた。だが、同じ留学生のサウジアラビア人や韓国人と仲良くなれたので良かった。今回の留学で学んだことは、異文化の違いや英語力の向上である。この留学で学んだことを生かし、将来に繋げたい。



## 7 謝辞

今回、セントラルミズーリ州立大学にてご指導して下さった Valerie Heming さん、Jill Thomas さんその他大学の関係者皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の夏季留学セミナー担当で 2018 年度前期の授業、セミナーでの現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本先生、矢口先生、小林伊織先生方には心より感謝いたします。最後に、本新潟国際情報大学から頂きました奨学金により、本セミナー参加が実現し、有意義な体験ができた事を、心から感謝いたします。

### 付録・留学日記

#### サンクスギビングブレイク

サンクスギビングブレイク 1 日目は先生からご飯をもらい部屋でニューヨークへの準備をしていた。翌日の朝 11 時便の飛行機でニューヨークに向かった。ニューヨーク初日はタイムズエアなどに行き友達へのお土産を買った。二日目は自由の女神がいるリバティーアイランドに行き間近で鑑賞することができた。これは予約制なので行くのであれば早めにとることを進める。

#### アメリカの文化について

- ・寮の部屋に備え付けてある風呂とトイレは隣の学生と共同（4 人で一つ）
- ・車で 20 分くらいのところにウォールマートという大型なスーパーがありそこでいろいろ必要な物を揃える。
- ・服などはあまり派手な人が少ない
- ・Tシャツなどの柄がかわいいやかっこよかったりすると褒められる
- ・基本フレンドリー
- ・食事が脂っぽい
- ・夜の寮の廊下は基本うるさい
- ・環境に慣れるのが遅い人は時差ボケが 1 カ月ぐらい続く
- ・避難訓練で鳴るサイレンがとてつもなくうるさい
- ・金銭感覚が狂う